

海を越えて、
世代を超えて

神戸淡路鳴門自動車道全通25周年記念事業 せとうちアートセミナー

参加
無料

演題 横尾忠則美術館の10年

横尾忠則現代美術館は、兵庫県立美術館の分館として2012年にオープンしました。建物は村野藤吾の最晩年の作品で、もとは兵庫県立近代美術館の西館として使われていたものです。当初の開館年である1982年には、横尾さんがデザイナーから画家に転向後初めての個展を開催していますので、建物自体は画家・横尾忠則と同じ年月を歩んできたこととなります。2012年のリニューアル・オープン以来、10年間に年平均3本、トータル約30本の企画展により、さまざまな角度から横尾さんの芸術に光を当ててきました。横尾さんは非常に多作で、また作風の幅も広いので、これだけバリエーションに富んだ企画ができた反面、現役アーティストとのコラボレーションには様々な苦労もありました。そうした舞台裏のエピソードも交えつつ、当館の歩みをご紹介します。



やまもと あつお

講師：山本淳夫氏
(横尾忠則現代美術館)

【プロフィール】

京都市生まれ（1966）。京都大学文学部哲学科美学美術史卒業（1990）。芦屋市立美術博物館（1990～2005）、滋賀県立近代美術館（2005～2011）を経て、2012年より横尾忠則現代美術館の学芸課長、2019年より館長補佐兼学芸課長を務める。これまでに「堀尾貞治展 あたりまえのこと」（2002）、「シュウゾウ・アツチ・ガリバー EX-SIGN」（2010）、「横尾忠則の恐怖の館」（2021）ほか企画多数。

2023年

6月24日（土）

13:00～14:00（開場12:30）

会場：神戸国際会館9階セミナーハウス大会場

定員：100名（先着順）

※当日参加受付もいたしますが、事前に参加申込みされた方を優先します。

申込方法：下記二次元コードからせとうち美術館ネットワークHPへアクセスしてお申し込みください。

（事前申し込み締め切り：令和5年6月22日17:00）

主催：せとうち美術館ネットワーク 後援：一般財団法人神戸観光局

【お問い合わせ先】

 本四高速 本州四国連絡高速道路(株)内

せとうち美術館ネットワーク事務局

TEL：078-291-1077

